

登場人物紹介

若手編集者
ウワイ

ヤンマガ編集部期待の(?)2年目編集で、「MFゴースト」の新担当。勉強はできるがクルマのことはさっぱりという「さとり世代」。



クルマライター
アンドー

自動車メディア業界で暗躍するフリーの編集ライター。風貌も発言もうさんくさいが、クルマに関する知識やクルマ愛は本物。



第1~6巻、累計
150万部突破!!
『MFゴースト』
しげの秀一
累計5000万部「頭文字D」の系譜を継ぐ、新公道最速伝説。「MFG」開幕戦決勝は2周目へ。ここでもカナタは86とともに、異次元の走りを見せつける—。
第6巻、大絶賛発売中!!



『MFゴースト』応援企画!!
クルマの知識もモテる技術(?)も
マスターできる特別企画、新章第12回!

公道最モテ伝説

MF GHOST

第12回

ウワイ、モーターショー初体験でぶったまげる! の巻

入社2年目の

若手編集部員ウワイ。

これは、時代の波に

乗れない彼がクルマを

乗りこなすまでを

描いた物語である—。

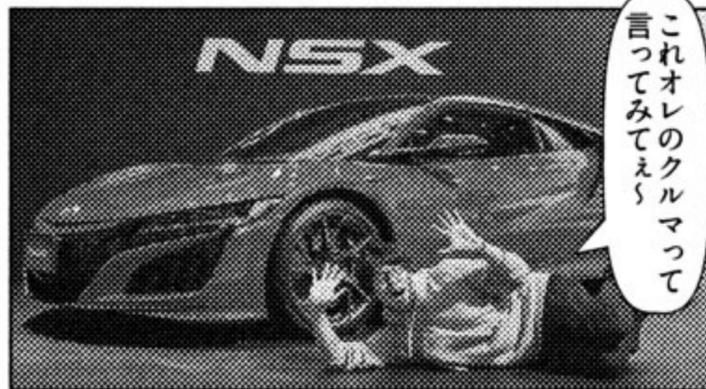
「あらずじ」世界5大モーターショーの一つ、東京モーターショーにウワイ初潜入! 夢が広がります、なコンセプトカーに、各社が誇るスーパーカー。そしてそして、眼福なお姉さんを目の前にして筋金入りのDT上井はKO寸前!? 今から2年後の開催も待ち遠しくなる潜入レポート、はじまりははじまり—。

★ アンドー(以下、安ド) いやー楽



今回は東京ビッグサイトから台場の青海展示場までの広々空間を舞台に、過去最大規模で開催された東京モーターショー。「2年に1度のお祭りじゃ〜」(安ド)

これオレのクルマって
言ってみてえ〜



ホンダのブースには、手の届く距離にスーパーカーのNSXが!! 触れるか触れないかの位置まで近づいてはしゃぐウワイだが、この後、「それ約2400万円だからな」と安ドに言われてビビる

しかつたなあモーターショー。
ウワイ ポクもついに東京モーターショーデビューが叶いました。

安ド 「デビュー」ってただ取材し

てただだけで、何もしたらんじやな

いか! とはいえ、キミもついに今

回、モーターショーDTを卒業した

わけだな。

ウワイ そういえば今回は、入場

者数が130万人を超えたと聞き

ました。僕と同様、今回のモーター

ショーでDTを卒業したチエリーた

ちも多かったのでは?

安ド うん、そうかもしれないけど

チエリーって言うな(笑)。やっぱり

今回、主催側が「新しいモーター

ショーのカタチ」を模索して、これ

VR体験で
クルマの内部へ
潜入!



日産ブースでは、VR体験コーナーを発見。ウワイもヘッドマウントディスプレイを装着してクルマの中へ潜入! 「これは理系男子のボクにはたまらん体験です! あ、鼻血が……」変態か!

までになかった展示方法や展示内容を
やってのけたのがよかったのかも
しれないなあ。

ウワイ ボクは「ショー」と聞くと、

どうも会場となる建物内をうろつき



三菱の「MI-TECH CONCEPT」は、電動でSUVでオープンコンセプトカー! 「EVばかりじゃなくてディーゼル車も出して欲しいなあ」と、たまにはマジメなことを言うウワイであった

未来はEVばかり
なのか……



「MFゴースト」で活躍中のフレンチスポーツに酔いしれる!

「MFゴースト」でも活躍中のアルピーヌA110を発見! 「実物は初めて見ましたが本当に美しいデザインでびっくりしました」(ウワイ)



移動中も楽しい!

2つの会場をつなぐ「オープンロード」にも展示車がたくさん。「かわいい女子と一緒にならもっと楽しいのに!」(ウワイ)「それはオレの意見だ!」(安ド)



編集部内で使えば楽かもしれない……

次世代パーソナルモビリティ体験会場では、ウワイもトヨタの電動パーソナルモビリティに試乗。「いやー、編集部内をこれで移動したいです!」いや、それ室内で走ったら迷惑だろ!



気分はやんエグ!

トヨタ車体ブースにあった新型車「グランエース」。あのトヨタのアルファードよりデカイボディで、後席にはVIP空間が広がっている。



「これぞ未来のスポーツカー!」

トヨタブースに展示されていた未来のスポーツカー「e-RACER」。勝手に乗り込めないで、隣で妄想して運転する気分になるウワイ(笑)。

まわるというイメージでしたが、今回は2つの会場を移動しましたものね!
 安ド そう、まるで会場(有明の街全体が会場になっているかのようだった。さらに徒歩移動する空間「オープンロード」にも様々な車両が展示されていて、飽きずに歩くことができた。
 ウワイ そこで次世代パーソナルモビリティの試乗体験もできました。俗にいう「クルマ」とはちよつと離れたイメージの展示も、カーマニアじゃない人たちまでもが見に来たくなった要因ですね。
 安ド そうかもな。お台場のメガウエブは「フューチャーエクスポ」と名を変えて、近未来体験施設になっていた。あそこはクルマメーカー以外の展示もいろいろあって、入場無

料で未来体験ができるので、子ども連れの家族なんかにも好評だったんじゃないかな。
 ウワイ 子どもといえば、子ども向け職業体験施設「キッズニア」の出張ブースが評判良かったみたいですね。自動車メーカーの社員や関係者が金型磨きやカーデザインのやり方を教えてくれるなんて、年齢制限さえなければボクだって体験したかったです!
 安ド クルマのことが何もわかってないキミにはぴったりだな。ところで、展示車はどうだった?
 ウワイ 未来のクルマが多かったですよね。
 安ド それがモーターショーなんだよ。メーカーが次世代のクルマの姿を提案して、ユーザーの反応を確かめているんだから。



こんなデカイクルマがあるなんて!

日野のブースでは、2019年のダカールラリーでクラス優勝を遂げたレンジャーを展示。「大迫力です!」(ウワイ)

ウワイ トヨタの「e-RACER」ってのは気になりましたね。
 安ド 未来のファン・トゥードライブとカスタマイズを提案するオープンスポーツカーな。
 ウワイ これがチューニングカーの未来の姿なのかしらと、いろいろ想像力が湧きました。

安ド では、市販車や市販前提車はどうだった?
 ウワイ ホンダのF1そっくりなマシンが展示されていてびっくりしました。まさかあれで公道を走れるなんて……。
 安ド いや、それ本物のF1だから(笑)。フィットやハスラー、レヴオーグとか、ほぼあのまま発売されるクルマが展示されてただろうが!
 ウワイ ああ、それならアルピーヌですね。
 安ド ぬぬ、珍しくマトモな答え。たしかに「MFゴースト」でも活躍していたスポーツモデルだからな。
 ウワイ アルピーヌの隣にいたコンパニオンのおねえさんが、一番僕のタイプでした。
 安ド クルマじゃないんかい!

今回の格言

赤糸のクルマや最新鋭技術に加え
 トップクラスの美女も見られる
 モーターショーに足を運ぶべし!

「初参戦して会場の広さや出展車の多さに驚愕しました! 次回はマイカメラを持ってきてお姉さんたちを撮りたいです!(←そっちかい!)」(ウワイ)



東京オートサロンでお待ちしております!

会場内の「東京オートサロン」応援ブースには、オートサロンイメージガールとなった、我が「MFGエンジェルズ」の林ゆめちゃんと山口はのんちゃんがいたぞ! 年明け開催予定のオートサロンにも行かねば!